

乳がん経験者のための新ブランドを 立ち上げ、ブラジャー・バッグを開発

Be Ribbon

乳がん経験者の力になりたいとの思いから、経験者の「お悩み」を聞くアンケート調査を実施。その結果をもとに「乳がん体験者の会（一社）KSHS（キチンと手術・ホンネで再建の会）」の全面協力を得て、乳房再建者向けのブラジャーとバッグの開発を進め、乳がん経験者のための新ブランド「Be Ribbon」として2016年9月から商品販売を開始しました。発売後、お客さまからもこの取り組みに対して高い関心・評価をいただいています。

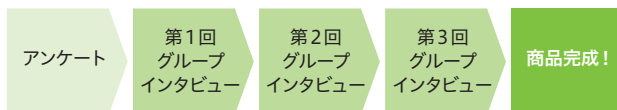
今後も、身体をいたわりながらも、おしゃれで快適な生活をサポートするファッションアイテムを開発・提供していきます。

商品の特長

- 特長 1 ・ノンワイヤーで脇まで広げたソフトモールドカップ
・ストラップ調整幅を10cmまで可能に。
負担を軽減し安定感アップ
- 特長 2 ・乳房にあたる部分はシルク素材を使用
・その他の部分は綿混の伸縮性のよりやわらかい素材を使用
- 特長 3 ・5段階調節できる後ろホックで、体調に合わせられる！



開発プロセス



各グループインタビューの詳細は、
えがの森ピンクリボンプロジェクトブログでレポートしています！

<http://www.egaono-mori.jp/pink/blog/index.html>

Comments

いつまでもキレイでいたい！
という女性の気持ちに応えるために

乳がん経験者の方とお話し、「縫い目が傷にあたって痛い」「アンダーの締め付けが気になる」といったお悩みをうかがいましたが、特に多かったのが「機能的だけどおしゃれなブラがほしい！」という意見でした。そこで、デリケートな肌への負担がかかりにくい素材の使用や、機能を充実させるだけでなく「おしゃれ」にもこだわって開発。下着を楽しみたい女ゴコロに応えるため、繊細で華やかなレースタイプと気持ちが上がる華奢で可愛いデザインの2タイプをご用意しました。



インナーウェア
商品開発担当
森下 由紀子

実体験者の要望を
女性ならではの視点で
叶えてくれました

素材選びから私たち乳がん経験者が関わり、機能的だけでなく、「おしゃれでやさしい着け心地」にもしっかりこだわりました。女性ならではの視点で、まさに経験者の要望が詰まったブラジャーになったとうれしく思います。

千趣会にはこれからも女性の味方でいてほしいと期待しています。

Voice

開発ご協力者
一般社団法人 KSHS 代表
溝口 綾子さま



女性に貢献する企業として、 乳がん患者さま支援商品を開発

乳がん知識の向上、検診の受診促進など、女性たちを乳がんから守る啓発活動に加え、2015年度からは乳がん経験者の支援へと活動の幅を広げて取り組んでいます。



特集③ Feature 3

乳がん患者さま
グループインタビュー

